

2022年12月14日

逗子市

45年ぶりの返還へ!!

逗葉地域医療センター・逗子市保健センターへの進入路が
日米両国間で返還合意されました。

●経緯

本日、12月14日に開催された日米合同委員会において、池子住宅地区及び海軍補助施設の土地及び工作物の一部返還について、日米両国政府により返還されることが合意されました。

このたび、合意された道路は、2001年に開設した逗葉地域医療センター・逗子市保健センターへの進入路として整備し、日米の共同使用という形態で、逗子市が市道（逗子市道池子133号、134号）として維持管理してきました。安定した通行を確保するために2002年に返還申請していたもので、このたび、両政府により合意されました。

今後、測量等や手続を経て、逗子市としては1978年以来、45年ぶりの返還をめざします。

【付属資料】

資料1：日米合同委員会合意事案概要

資料2：返還の概要

資料3：逗葉地域医療センター・逗子市保健センター進入路写真、地図

資料4：市長コメント

本件に関するお問い合わせ先

経営企画部基地対策課 米山・坂本

電話：046-873-1111 内線326

日米合同委員会合意事案概要

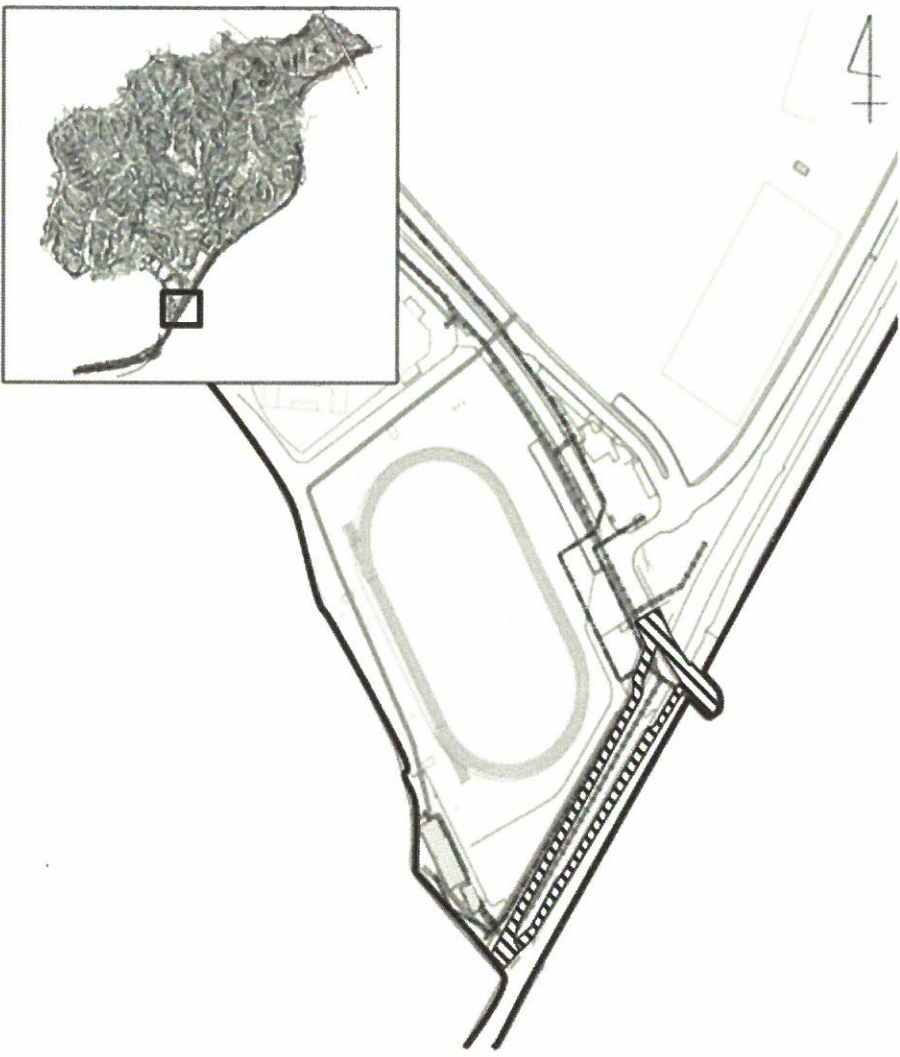
件名	F A C 3 0 8 7 池子住宅地区及び海軍補助施設の土地及び工作物の一部返還について
承認年月日	令和4年12月14日
施設・区域名称	F A C 3 0 8 7 池子住宅地区及び海軍補助施設
合意対象所在地	神奈川県逗子市
合意対象面積等	土地：約2,500㎡
	水域等：-
	建物：-
	工作物：囲障、舗床等
	附帯施設：-


【事案内容】

本件は、標記施設・区域の下記一部土地等の返還について、日米合同委員会の承認を得たものである。

記

土地：約2,500㎡
工作物：一式（囲障、舗床等）



 返還される土地及び工作物の範囲

返還の概要

●場所

逗葉地域医療センター・逗子市保健センター（逗子市池子字棧敷戸 1892 番6）への進入路。

●内容（現時点での概略数値）

土地 約 0.25ha 及び 工作物（囲障、舗床等）

車道・・・長さ 約 211m、幅員 概ね6m、面積 約 1,840 m²

歩道・・・長さ、約 158m、幅員 概ね 2.5m、面積 約 676 m²

●経緯

12月14日に開催された日米合同委員会において、逗葉地域医療センター・逗子市保健センターへの進入路が日米両国政府により返還されることが合意されました。

この道路は、2001年に開設した逗葉地域医療センター・逗子市保健センターへの進入路として整備され、日米の共同使用という形態で、逗子市が市道として維持管理してきました。安定した通行を確保するために2002年に返還申請していたもので、このたび、両政府により合意されました。

●逗子市におけるこれまでの返還及び共同使用

- ・第一運動公園（約6ha。1972年12月に返還）
- ・久木中小共同運動場（約2.5ha。1977年8月に返還）
- ・マイクロ通信施設（第一運動公園隣接地）（約0.13ha。1978年12月に返還）
- ・久木中小共同運動場への通路（1996年から2014年まで共同使用）
- ・逗葉地域医療センターへの進入路（2001年3月から共同使用）
- ・池子の森自然公園（約40ha。2014年11月から共同使用）

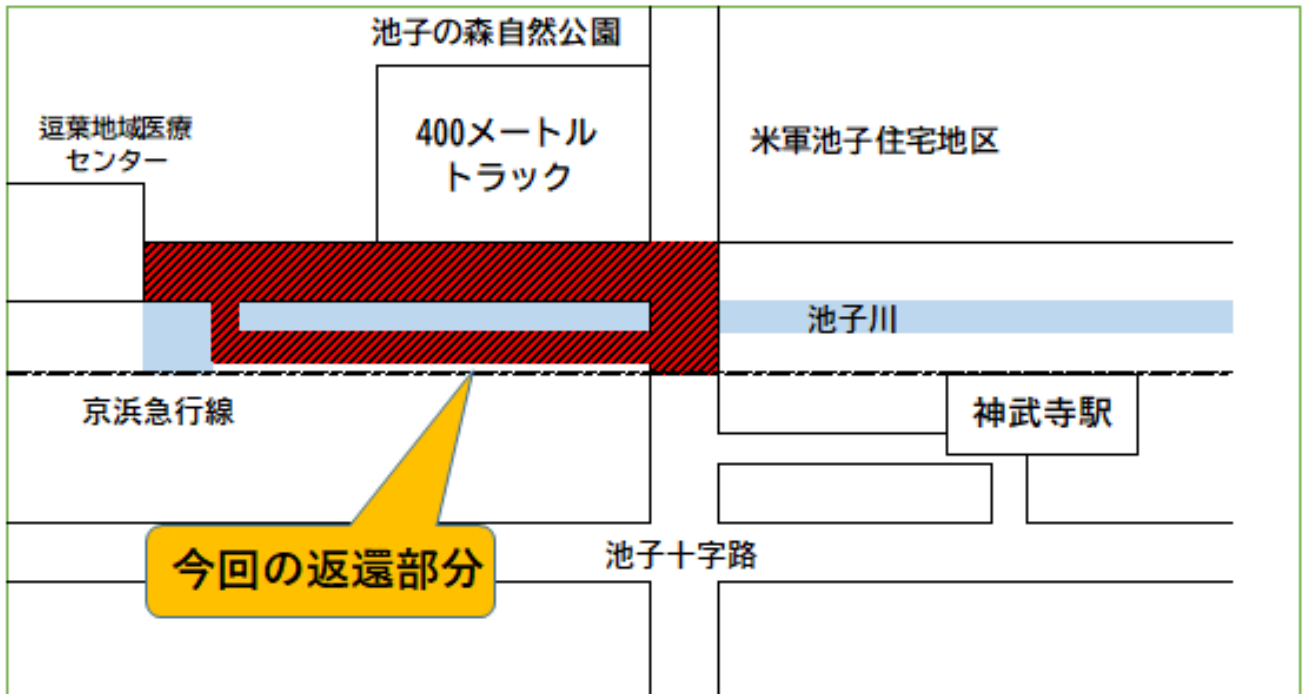
●池子の森の歴史

池子住宅地区及び海軍補助施設は、かつて第二次世界大戦前に旧日本軍により弾薬庫が造成・使用され、終戦後は、連合軍に接收され、引き続き弾薬庫として使用されていました。また、弾薬庫として使用されなくなった後には、米軍家族住宅の建設計画が持ち上がり、住宅建設を巡って市を二分する大きな問題となった歴史を持ってい

ます。

2014年11月、池子住宅地区及び海軍補助施設の一部の土地、約40haの日米の共同使用が開始され、2015年2月には池子の森自然公園を開園しました。

逗葉地域医療センター・逗子市保健センター進入路 (逗子市道 池子133号、134号)



逗葉地域医療センター・逗子市保健センターへの進入路の返還について

逗子市にとっては、45年ぶりの返還になることから、この度の合意は、大変うれしい知らせとなりました。

いわゆる池子問題は、長きにわたって市を二分するなど、市政に大きな混乱が生じていた時期があり、多くの市民の思いが詰まった場所であると認識しています。

逗子市としましては、当面の目標としている、共同使用地約40ヘクタールの返還についても、引き続き取り組んでいきたいと考えています。

逗子市長 桐ヶ谷 寛